

平成二十五年 総合問題 (文学科 日本語日本文学専攻) 解答例

㊦ (一〇〇点)

- 問一 ① 好奇心 ② とっぴようし ③ 素朴 ④ やつぎばや ⑤ ばいかい
- 問二 (1) 土台 (2) 能力
- 問三 母語がどのような仕組みであるのかをある程度理解すること。
- 問四 自転車に乗っていたのが太郎であるのか、泥棒であるのか
- 問五 He reads three books.

*複数、三人称はどこに使ってもかまわない。三人称複数にすることも可。

右の例文で他動詞「reads」のあとにある「three books」が目的語となり、

「three books」の「books」が複数となっている。また、主語の「He」は三人称となる。

問六 教室で取り上げられる英文や和文は比較的構造の単純なものに限定されるようになってしまい、語彙も単純なものが大部分を占めるようになってしまったから。

問七 (1) ビジョン

- (2) インパクト(ショックでも可)
- (3) コンセプト
- (4) ポジティブ(アグレッシブ、アクティブでも可)
- (5) モチベーション

問八 母語によるきっかけづくりによって育成されたことばへの気づきは、今度はそれを使って、外国語の学習を容易にするという認識が欠けていたから。(六九字)

問九 (1) 故 雖

- (2) 意味に従う文字(表意文字)は、その音がわからなくても自然と意味を伝えることができる、音に従う文字(表音文字)は、その音がわからないうちはその意味を伝えることができない。
- (3) 但だ中文をして本地の文の如(ごと)からしめば、即ち之を通ぜざる者無し。
- (4) 人名のような固有名詞を表意文字で表記すると、表意文字を用いる国によって発音が異なってしまう。例えば日本では「きんにかく(きんじかく)」と読む。

㊦ (一〇〇点)

問一 1 読みかけて途中でやめて 3 影響を受けて(須磨の巻に触れて創作意欲を起こして)

問二 ア 大声で歌って(歌いさわいで) イ 聞こえる ウ いっそう オ このような

問三 A 主語(主格でも可) B 無生物主語(主語だけでも可)

問四 C 形容詞 D 名詞 E 形容動詞 F 形容詞

問五 子規という俳号は「時鳥」を意味しており、時鳥＝正岡子規との短い会話という気持ち
が込められているから。(五〇字)

問六 行平の中納言が、「関吹き越ゆる」と詠んだ波の寄る音が、毎夜まことに間近く聞こえ
て

*波の寄る音と夜々(毎夜)の懸詞が訳せているか、「げに」の意味がわかっているか、
がポイント。「関吹き越ゆる」は訳していてもいなくても可。

問七 漱石が、『源氏物語』本文だけでなく、紫式部が本文執筆の際に参考にした古歌までも
含めて俳句を作ったように、古典の原文そのものだけでなくその作品の背後にあるもう一
つ別の古典をも視野に入れて読むこと。(九八字)

*漱石の俳句制作の具体例を挙げていること。

問八 え